

# 校内研修計画

甲州市立大和小学校

## 1 学校課題

大和地区は自然に恵まれており、周囲を山に囲まれた静かな地域である。近年は、地域の中央を高速道路が走り、幹線道路も交通量が増加し春や秋など観光客が多数訪れ、賑わいを見せる。大和町は武田家終焉の地としても知られており、多くの史跡が点在する古い歴史を持つ町である。

本校は、児童数が少ないため人間関係も固定されがちであり、多数な意見や価値観に触れる機会が少ない。決まったことや指示されたことに一生懸命に取り組むことはできるものの受け身になりがちで、自ら考え、主体的に取り組もうとする姿勢は十分だとは言えない。また、学校を離れ地域に帰ると、同年代がほとんどいない状態となる子ども多い。そのためか、人との関わり方や円滑なコミュニケーションがとれない児童も見られる。そこで、様々な機会を捉え、児童会の集会活動での縦割り活動や低中高学年の合同体育などを通して、人間関係を築く能力や社会性を育み、異年齢集団の中で共に助け合うことができる環境作りを進めている。

## 2 研究主題 「学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」

～ 伝え合い交流する ～

## 3 主題設定の理由

### (1) 学習指導要領総則から

学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、児童に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。その際、児童の発達段階を考慮して、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確率するよう配慮しなければならない。

学習指導要領では、基礎的・基本的な知識・技能の習得とともに、

- ① 思考力・判断力・表現力の育成
- ② 主体的に学習に取り組む態度の育成
- ③ 言語活動を充実し、言語に関する能力の育成

が求められている。問題解決的な学習を重視し、思考力・判断力・表現力の育成を目指すとともに、児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習が足されるよう工夫することや、各教科等の指導において、どのように言語活動の充実を図るか今日的な課題である。

### (2) 昨年度の研究から

本校では、各教科等において「考える場」「伝えあう場」を設定し、言語活動の充実を図る中で、思考力や表現力の向上を目指し、研究を進めてきた。特に、昨年度は、思いや考えを自分の言葉で表現したり、お互いの考えを尊重しながら聴きあい、より良いものを創り出していったりできる授業作りを行った。その結果、子ども自身が意識して発言を行うことができたり、人前で話すことに以前より抵抗がなくなったり、児童の変容がみられた。しかし、一方で、「伝えあう場」が思考を深める場として十分に機能しておらず、児童の伝え合い活動が十分に深まっていない、という課題点もあげられた。そこで、今年度は、昨年度の研究を継続し、「考える場」「伝えあう場」の中で「伝え合い交流する」ところを、より充実させるための手立てを工夫していくことで、学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成につなげていきたい。

また、お互いに認め合い意欲的に学びあえる学習集団をつくるために2回のQ-Uアンケートの結果を分析し、児童理解を進めたり、学習規律の定着をみるためにアンケートの実施行ったりした。それらの結果から、課題を持つ子に適切な関わりを持ったり、見つかった課題に早急に対応することができたり、学習規律の中で不十分であるところがあったり、成果や課題が明らかになった。そこで今年度も引き続き、より良い学級集団をつくるために、Q-Uの結果を活用し、学習規律を定着させていくために、継続的に指導していくこととする。

さらに、家庭と連携した学習環境作りを進めるために、家庭学習のアンケートを実施したり、学年部会等で話し合いを持ったりした。家庭学習については、毎日するものだという意識が定着してきている。今年度は、家庭学習の内容や意欲など個人差への対応など、さらに研究を深めていきたい。

#### 4 研究の具体的内容与方法

【研究①】教科等の特質を生かした言語活動を充実させた授業づくり	
【具体的内容与方法】 ア 言語活動に関する学習会 イ 研究授業及び研究会 ウ 一人一実践授業及び振り返り	【変容の見取り】 ・授業観察 ・学習ノート等の記録 ・学習感想 等

【研究②】意欲的に学ぶ学習集団づくり	
【具体的内容与方法】 ア 大和小学習のきまりの定着 イ Q-U 調査の分析, 対策 (K-13法)	【変容の見取り】 ・児童観察 ・「大和小学習のきまり」達成アンケート ・Q-Uの結果 等

【研究③】家庭と連携した学習環境づくり	
【具体的内容与方法】 ア 大和小学習の手引きの作成 ( 家庭学習の内容 ) イ 生活ノートの改善	【変容の見取り】 ・家庭学習に関するアンケート ・保護者からのコメント ・児童の感想 等

#### 5 年間研修計画

研修内容	提案・担当	形態	月 日	T・C 要請
今年度の研究計画	研究主任	全 体	4月 9日	
今年度の研究計画	研究主任	全 体	4月23日	
理論研究	研究主任	全 体	4月30日	
理論研究	研究主任	全 体	5月16日	
K-13法 研修会	研究主任	全 体	6月11日	
理論研究会	研究主任	全 体	6月25日	○
部会研究会	各部長	部 会	7月 2日	
(K-13法)		全 体	7月16日	
大和保育所の見学と意見交換会(保幼小連携) K-13法		全 体	7月23日	
地域教材の整理・教育課程研修報告会		全 体	8月20日	
理論研究		全 体	9月 3日	
実践報告 部会研究会		部 会	9月10日	
授業研究に向けて 実践報告		全 体	9月17日	
授業研究に向けて 実践報告		全 体	10月 8日	
授業研究		全 体	10月29日	○
実践報告 部会研究	ブロック長	部 会	11月21日	
K-13法 研修会	ブロック長	全 体	12月 3日	
研究のまとめ・教育課程	研究主任	全 体	12月10日	
本年度の成果と課題	研究主任	全 体	1月28日	
来年度の研究に向けて	研究主任	全 体	2月25日	
研究紀要作成	研究主任	全 体	3月 4日	